

『土佐日記』「門出」(文法)

男もす①なる日記といふものを、女もしてみむとて、する②なり。
 その年の十二月の二十日余り一日の日の戌の時に、門出す。そのよし、Aいささかにものに書きつ
 く。

ある人、県の四年五年果てて、例のこともみなし終へて、解由など取りて、住む館より出でて、船
 に乗る③べき所へわたる。かれこれ、知る知ら④ぬ、送りす。年ごろよくくらべ⑤つる人々なむ、別れ
 がたく思ひて、日しきりに、とかくしつ、ののしるうちに、夜B更け⑥ぬ。

二十二日に、和泉の国までと、平らかに願立つ。藤原のときぎね、船路⑦なれど、むまのはなむけす。
 上・中・下、酔ひ飽きて、いとあやしく、潮海のほとりにて、あざれ合へ⑧り。

二十三日。八木のやすのりといふ人あり。この人、国に必ずしも言ひ使ふ者にもあら⑨ざ⑩なり。こ
 れぞ、たはしきやうにて、むまのはなむけし⑪たる。守柄にやあらむ、国人の心の常として、「今は。」
 とて見えざるを、心ある者は、恥ぢずになむ来ける。これは、ものによりてほむるにしもあらず。

二十四日。講師、むまのはなむけしに出でませ⑫り。ありとある上・下、童まで酔ひしれて、一文字
 をだに知らぬ者、しが足は十文字に踏みぞ遊ぶ。

問一 傍線部A・Bの用言の活用之行・種類・活用形を答えなさい。

問二 傍線部①～⑫の助動詞の意味と活用形を答えなさい。

【解答欄】

問一

A		B	
---	--	---	--

問二

⑪					
⑨					
⑦					
⑤					
③					
①					
⑫					
⑩					
⑧					
⑥					
④					
②					

『土佐日記』「門出」(文法) 解答

男もす①なる日記といふものを、女もしてみむとて、する②なり。
 その年の十二月の二十日余り一日の日の戌の時に、門出す。そのよし、Aいささかにものに書きつ
 く。

ある人、県の四年五年果てて、例のこともみなし終へて、解由など取りて、住む館より出でて、船
 に乗る③べき所へわたる。かれこれ、知る知ら④ぬ、送りす。年ごろよくくらべ⑤つる人々なむ、別れ
 がたく思ひて、日しきりに、とかくしつづ、ののしるうちに、夜B更け⑥ぬ。

二十二日に、和泉の国までと、平らかに願立つ。藤原のときぎね、船路⑦なれど、むまのはなむけす。
 上・中・下、酔ひ飽きて、いとあやしく、潮海のほとりにて、あざれ合へ⑧り。

二十三日。八木のやすのりといふ人あり。この人、国に必ずしも言ひ使ふ者にもあら⑨ざ⑩なり。こ
 れぞ、たはしきやうにて、むまのはなむけし⑪たる。守柄にやあらむ、国人の心の常として、「今は。」
 とて見えざるを、心ある者は、恥ぢずになむ来ける。これは、ものによりてほむるにしもあらず。

二十四日。講師、むまのはなむけしに出でませ⑫り。ありとある上・下、童まで酔ひしれて、一文字
 をだに知らぬ者、しが足は十文字に踏みぞ遊ぶ。

問一 傍線部A・Bの用言の活用之行・種類・活用形を答えなさい。

問二 傍線部①～⑫の助動詞の意味と活用形を答えなさい。

【解答欄】

問一

A	ナリ活用	連用形	B	カ行下二段活用	連用形
---	------	-----	---	---------	-----

問二

⑪	完了	連体形	⑫	完了	終止形
⑨	打消	連体形	⑩	伝聞	終止形
⑦	断定	已然形	⑧	存続	終止形
⑤	完了	連体形	⑥	完了	終止形
③	予定	連体形	④	打消	連体形
①	伝聞	連体形	②	断定	終止形